

# たてやま

## 議会だより



No. 98

| 2026.5.1 |



立山町HPは  
こちら

令和8年 3月定例会号



# 田園をつなぐ、

# 地鉄立山線

総務教育常任委員会の審議	2
産業厚生常任委員会の審議	3
代表質問	4
一般質問	5
ハッピーバースデー	6
立山町議会は、ココに注目しています!	6・7
一般質問	8~11
6月定例会日程、表紙写真募集	12
町村議長会表彰、地域おこし協力隊、あとがき	12

### TOPICS

当議会も分割質問導入へ ..... 2

撮影日/令和7年5月13日  
撮影場所/沢中山陸橋から  
撮影者/久世邦雄様

# 委員会 の審議

町議会では、2部門の常任委員会に分かれて、提出議案を審議しています。

## 総務課

**Q** 新しく導入される防災行政無線システムの機能及び導入による住民のメリットは。

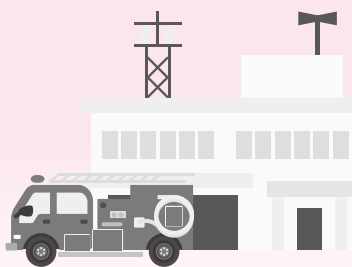
**A** 新システムは、気象情報や県内河川の氾濫状況等各種防災機関の情報を集約し、その情報をもとに町の行政区ごとに危険度を細かく表示するもので、町の避難指示発令の際の基準になるシステムとなる。

これまでの経験に基づいて避難指示を発令していたが、今後は最新の情報を集約して判断するため、住民に迅速に情報を伝えることができ、導入効果が高い。

## 消防本部

**Q** 通信指令業務共同化に伴い実施されていた富山市消防局への職員4名の派遣が、今年度で終了することによる今後の富山市との連絡体制は。

**A** 令和5年度から3年間、月に1度のペースで課題検討を行ってきた。問題はほぼ解消され、4名が引き上げてきても支障はない。



## 教育委員会

**Q** 部活動地域展開・地域連携推進事業において、部活動指導を行うための資格等については。

**A** 部活動指導を行う部活動指導員については、学校教育における部活動の位置付けや教育的意義等の必要な研修の受講に加え、コンプライアンスの順守等が要件である。

現在配置している部活動指導員については、それらの要件を満たしていることから、新年度においても引き続き指導を依頼する予定。



## 税務課

**Q** 町たばこ税における収入額の推移については。

**A** たばこの価格が上昇しても、過去10年間大きな変動はなく安定した収入額となっている。

## 議会事務局

**Q** 議場の演壇改修の内容及び工事の時期については。

**A** 分割質問・分割答弁に対応するため質問者と答弁者の視線を合わせることを目的としている。

分割質問・分割答弁の導入を予定している令和8年6月定例会に間に合うよう着手する。

## 企画政策課

**Q** (仮称)立山町観光・暮らし情報館の整備後の移住定住に関する問合せや相談の対応については。

**A** (仮称)立山町観光・暮らし情報館の整備後は、役場が閉庁している土曜日・日曜日の相談対応も予定している。オンライン相談の対応も視野に入れているが、詳細についてはこれから検討する。

## 6月定例会からスタート！～分割質問方式～

令和8年6月定例会から、\*分割質問方式と従来の一括質問方式の選択制となる。分割して質問を行うことで、議論の充実と分かりやすい議会運営につなげていく。

### ※分割質問方式とは

代表・一般質問において、複数の質問項目がある場合に、質問者が全ての項目を一括して質問するのではなく、質問項目ごとに区分して質問し、答弁者がその都度答弁する方法のこと。



# デマンド交通の利用方法は 電話やLINE予約で

## 健康福祉課

**Q** 「保育所等運営事業」での、子ども誰でも通園制度の利用想定人数は。

**A** 立山町こども計画に記載の人数見込みと確保内容を考慮し、保育施設2か所で0歳児1人ずつ、1・2歳児各2人ずつの計6人としている。



## 建設課

**Q** 橋りょう等ストック維持事業での、管理者不明の河川橋りょう点検内容は。

**A** 町道の橋りょう定期点検と同様に、床板や橋台など部材ごとに損傷状況を確認し健全度を判定する。併せて長寿命化計画を策定する。

## 住民課

**Q** 町営バスにデマンド交通を導入する際の利用方法は。

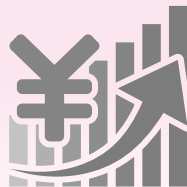
**A** 電話又は町公式LINEでの予約を考えており、出発停留所と目的地停留所を選んでいただく。停留所については各集落に1か所ずつの設置を考えており、スーパーマーケットや病院、診療所などにも協賛をいただきながら設置していきたい。



## 商工観光課

**Q** 物価高騰対策企業支援事業」での、小規模事業者生産性向上支援補助金については。

**A** 省力化やDX設備投資へ補助することとで、事業者の収益力強化やコスト削減により、経営基盤強化につながるものと考えている。



## 水道課

**Q** AIを活用したDX管路施設点検調査の水道料金への影響は。

**A** AIで漏水リスクの高い箇所を特定し、効率的な更新を行うことで費用を抑制できる。  
この調査は例年の委託料の範囲内で実施するため料金への影響はない。



## 農林課・農業委員会

**Q** 「明日を担う農業経営体育成事業」での、担い手不足解消の一助として、すきま時間やパートタイム労働をマッチングする仕組みを作っているかどうか。

**A** 令和8年度より立山町ホームページに農業求人情報ページを設ける予定。また、地域担い手育成総合協議会でも新規就農者へのセミナーやマッチングを実施しているため、情報提供していく。

## 条例の審議

### 立山町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

**Q** 支給審査委員会の委員数と構成は。

**A** 国通知では、委員数は4～7人で、医師・弁護士・自治体職員・大学教授・ソーシャルワーカー等で構成される。

### 立山町障害者福祉金条例の一部改正

**Q** 受給者への影響は。

**A** この改正により非課税の判定が所得税から住民税となり、また本人と家族での判定が本人のみでとなるため、受給者が100人程度増加する見込みである。

## デマンド交通とは

利用者の予約に応じて運行する交通サービスのこと。決まった時刻やルートではなく、必要に応じて運行される、バスとタクシーの中間的な仕組み。

# 代 表 ・ 一 般 質 問

11名の議員が質問を行いました。  
一部の質問・答弁について、その要旨を掲載しています。

ココを  
聞きたい！



立山町議会  
YouTube  
チャンネル ▶  
本会議の動画を配信しています。



賛否はこちら ▶



その他の質問は  
こちら ▶



詳しくは、図書館や議会事務局に会議録があるほか、町ホームページでも見ることができます。  
<https://www.town.tateyama.toyama.dbsr.jp/index.php/>



## 新年度予算

### ① 基本的な編成方針は

子育て支援・  
都市機能集約等を進める



佐藤康弘 議員

**議員** 人口減少や物価高騰がつづく中、町の新年度予算の編成にあたっての基本的な編成方針について問う。  
**町長** 新年度予算編成は、第10次立山町総合計画の後期5年間が始まる年度であることを踏まえ、子育て支援や教育環境の整備、公共交通の維持、更には都市機能の集約化など、直面する課題への対応

を重点的に進めていく。  
また、災害から町民の生命・財産を守るため、防災・強靱化対策を実施する。管理者不明の橋りょう点検に取り組むなど、将来の課題を先送りすることなく対応していく。

### ② 財政見通しは

国の補助金等  
活用し財政運営

**議員** 将来の町財政見通しを問う。  
**町長** 財政の健全化を示す指標を活用している。フロー指標である「実質公債費比率」は、今後数年間は上昇するが、ストック指標である「将来負担比率」は減少していくと見込んでいる。どちらも「健全な段階」を維持しているが、各種施策

を推進するには、財政の裏付けが必要となるので、国の補助金や有

利な起債を活用するなど、工夫しながら財政運営をしていく。

## 6期目の町政

### 現状と課題についての認識と対応は

人口減少と高齢者世帯の対応を担う

**議員** 6期目の町政を担うにあたり、町の現状と課題についてどのよう認識しているのか。また、4年後の町をどのように描き運営していくのかを問う。

今日、75歳高齢者世帯は、令和8年1月1日現在、2千世帯弱で單身世帯は767世帯である。  
また、道路、橋、水道のインフラも老朽化している。

**町長** 選挙期間中、町民の方と直接会話をする中でも強く感じたことは、「人口減少と高齢者世帯、増加への対応」である。  
県外の大学等を卒業後、県外で就職するなど、現役世代が減り人口減少が進んだ。同時に、高齢者世帯が増えた。昭和の時代、三世代同居で、家族で助け合うため、買い物、通院難民はまれだったが、

6期目に向けては、出来ないものは出来ないとはっきり言うことである。その上で、4年後というよりも、10年後20年後、この町で暮らす人の生命を守るだけの財政力やインフラを維持する。次世代に過度な負担を残さないために「今、これをやっておきましょう」と住民に説明することである。

議員 尖山への登山者  
がかなり増大している  
と見える。尖山から千  
垣山へ通り抜けて行く  
登山道を開設し、合わ  
せてトイレ、休憩所等  
も整備して、横江駅及  
び千垣駅の利用客増加  
に結びつけられない  
か、考えを問う。

町長 尖山は利用客増  
加への可能性を持つ観  
光資源でもある。しか  
し登山者の多くは自家

## 地鉄立山線 利用客の増加に向けて

整備はできない



宇佐美淳 議員

建設課長 公共工事  
も法に基づき、許可ま  
たは届出が必要となっ  
た。法に定める基準の  
擁壁を使用する必要も  
ある。

議員 令和7年5月よ  
り盛土規制法の運用が  
開始された。公共工事  
も規制の対象になると  
認識している。  
そうであれば、強固  
な擁壁等の設置が必要  
になり、工事設計、積  
算に影響が出ると思え  
る。どのような対応を  
されるのか問う。

用車を利用している現  
状である。立山線存続  
施策の一つに公共交通  
PR促進を掲げてお  
り、提案のとおり電車  
があるからこそ体験で  
きるというコンテンツ  
が必要となる。

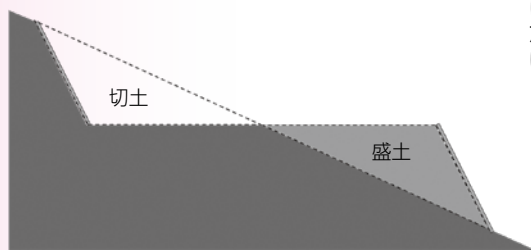
### 盛土規制法

### 今後の対応について

しかし、町が新たに  
登山道やトイレ、休憩  
所を整備する費用に見  
合うだけの、地鉄の利  
用者増が見込めるだろ  
うか。現在のところ整  
備する予定はない。

### 一部影響はある

なお道路改良事業  
や、土地改良事業など  
の工事は許可、届出を  
要しないので影響は受  
けない。



議員 令和8年度後半  
に開始するデマンド運  
行実証事業の概要と広  
域化の可能性は。

町長 町営バス6路線  
のうち、芦峯寺線運行  
エリアを除く、町内全  
域でデマンド運行の実  
証事業を予定してい  
る。

運行時間は午前8時  
〜午後6時とし、コー  
ルセンターにて電話か

## 町営バス デマンド運行の概要は

一部現状維持



澤井峰子 議員

町長 町では自治公民  
館の新築又は改築に対  
して、対象経費の10%  
以内（上限200万円）、  
増築には対象経費30%  
以内（上限40万円）の  
補助を行っている。

議員 各集落が管理す  
る自治公民館の老朽化  
に伴う支援が重要であ  
る。  
建築費補助制度に  
は、耐震等に関するも  
のが対象外となってい  
るが、今後補助制度が  
必要では。

### 自治公民館

### 耐震等に関する補助制度を

県内外事例を参考に検討する

また令和6年度には  
12自治公民館に省エネ  
改修支援事業として補  
助対象費1/3（上限  
200万円）の補助を行っ  
ている。

町では耐震工事費等  
の補助制度は設けてい  
ないことから、県内外  
の事例や、県及び町の  
住宅耐震診断等の補助  
制度を参考に、自治公  
民館に対する補助基準  
や金額等について検討  
していきたい。

インターネットで予約  
受付を行い、希望する  
停留所間を利用できる  
ものである。  
利用料金は、距離に  
応じて500円〜700円程度  
を想定している。  
なお、通勤通学確保  
のため、伊勢屋線と北

部循環線の朝便と芦峯  
寺線終日は現状維持と  
する。  
また今後、社会情勢  
の変化に伴い、広域連  
携も含め、実情に応じ  
た事業内容としてい  
く。

# に注目しています!

企画政策課

地鉄立山線  
再構築本調査業務

2,000万円

鉄道ネットワーク  
維持補助金(地鉄へ)

2,400万円

地鉄立山線の維持



3  
月  
定  
例  
会  
概  
要  
  
ハ  
ッ  
ピ  
ー  
バ  
ー  
ス  
デ  
ー

## ★ 5/1~7/31 生まれ ハッピーバースデー ★



(うえの あきと)  
上野白翔さん  
2025年6月13日生 1才



(よりた ゆづき)  
寄田結月さん  
2024年7月22日生 2才



(うらやま けいか)  
浦山蛍佳さん  
2023年6月19日生 3才



(さくらい たいが)  
櫻井大河さん  
2019年5月4日生 7才

8/1~10/31  
生まれ募集中!



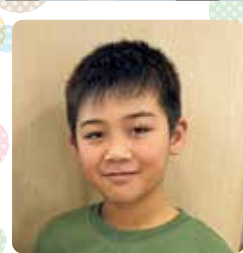
応募はこちらから



(やまもと つむぎ)  
山本紬生さん  
2024年6月24日生 2才



(うらやま いさと)  
浦山衣郷さん  
2025年7月6日生 1才



(さくらい だいち)  
櫻井大地さん  
2016年6月21日生 10才

# 立山町議会はココ

## 教育委員会

物価高騰対応  
学校給食費補助金

9,339万円

小学生は無償化、  
中学生は一部を一律支援



## 健康福祉課

出産準備支援事業(2万円)、  
誕生祝いポイント(3万円)

675万円

各1万円増額



## 農林課

有害鳥獣等  
防止対策事業

2,087万円



R5豪雨災害  
林道の災害復旧

4億6,776万円



## 建設課

管理者不明  
河川橋りょう点検等

453万円

29橋を4年間で点検



## 企画政策課

(仮称)立山町観光・  
暮らし情報館  
(移住交流拠点施設)  
整備事業

4,967万円





議員 髪口清隆

## 町営バス 今後の運行は デマンド運行を検討

**町長** 「買い物物に行きたいが、町営バスの時間が間に合わない」「近くに町営バスの停留所がない」などの意見を聞く。

デマンド運行では、希望する時間に、希望する場所へ直接行くことが出来るようになり、利便性が格段に向

上すると思われる、その分、料金負担の増額をお願いすることになるが、「たてポ交通ポイント」付与事業を行っていく。

予算に関しては、国補助金の申請準備をしており、6月定例会で関連予算を上程する予定。



議員 坂井立朗

## 町政運営 意気込みを問う 責任ある政治をしていく

**議員** 6期目の町政運営に掛ける意気込みを問う。

**町長** 2月の就任式で、「次世代に説明できるよう責任ある政治をしていく」「今やるべきことをやっておく」と職員を前に訓示した。町長には20年後の納税者に対しても責任があると思ってい

る。こどもたち世代に過度な負担をかけないよう、各種事業を進めていかなければならぬ。住民が、普段、自分の住む町の政治や行政

をあまり意識しないで暮らしていても、非常時には役に立つと感じてもらえるような仕事を、これが市町村の役割だと思っている。

## 下段保育所 今後のスケジュールは

### 令和11年度末の廃所を目標

**議員** 下段保育所の今後に向けてのスケジュールは。

**町長** 平成28年度に策定した「町公共施設等マネジメント計画」では、人口動向や乳幼児数、施設の老朽化等を勘案し、下段保育所については、令和5年度末までを「廃所」の目標年度としていた。

一方、町全体では、保育所の入所児童数が減少しており、職員採用を控えてきた。また、施設自体の老朽化が著しい。下段保育所の児童数は、今後新規入所がなければ、「令和11年度末の廃所」を目標とする。

近年の入所児童数は、利用定員の7割強である50数名程度で横ばいに推移していたため、廃所の判断は先送りしていた。

現在入所中の児童や保護者に対しては、丁寧な対応に努めるとともに、新年度に保護者や地域住民の方々に説明をし、理解を得た上で町広報等で案内する。

## 一般質問

**町民**に広く周知するために、今後町営バスをどの様に運行していくのか町長の思いは。

**議員** 全国各地でライドシェアやデマンド交通など、様々な取り組みがされているなか、令和5年12月以降何度が質問してきた。

**町長**は6期目にあたり、町営バスの見直しに取り組みたいと訴えられていたが、新年度予算には入っていない。

## 有害鳥獣 防止対策は ドローン・ICTを活用

**議員** 昨年、立山町内では山岳地帯から平野部の広範囲にかけてクマが頻繁に出没し、残念なことに2件の人身被害があった。

令和7年9月1日から、緊急銃猟制度が設けられ町内でも実施された。町内における有害鳥獣の捕獲状況は。新年度予算に「クマ等航空調査業務」「大

型ICTサル檻」が組み込まれている、今後の防止対策は。

**議員** 昨年、立山町内では山岳地帯から平野部の広範囲にかけてクマが頻繁に出没し、残念なことに2件の人身被害があった。

令和7年9月1日から、緊急銃猟制度が設けられ町内でも実施された。町内における有害鳥獣の捕獲状況は。新年度予算に「クマ等航空調査業務」

「クマ等航空調査業務」は、温度感知やズーム機能を備えたドローンで、上空から調査を行う。

「大型ICTサル檻」は、動物が侵入するとスマートフォンに通知され、ライブカメラを確認しながら遠隔で檻を閉めることが可能で、20〜30頭の捕獲ができる。

議員 移住交流拠点施設はじめ、今後予定する施設や設備に対し、住民による要望の声が上がり始めている。この後も要望等を募り取りまとめ、住民参加のプロジェクトとして位置付けたいが、町の見解を問う。

町長 昨年実施したサ

## 五百石地区再開発

### 住民参加の位置づけに

地区住民との意見交換を重ねる



堀田 努 議員

農林課長 民家敷地の雑木林はクマやサル、ハクビシンなどの有害鳥獣が隠れやすい場所になっている。特に空き家敷地の雑木は、クマの隠れ場所

議員 平地に降りてきたクマが、住宅の雑木に隠れて人を襲ったという、悲惨な事故が起こった。生活圏にクマが入り込まないよう、また地区の環境のためにも雑木の伐採が急務である。各戸に雑木処理を強く要請する方策はないかを問う。

町としては関係部局が連携し、これらの取り組みを町民にさらに周知することで、民家庭木等の環境改善とクマ対策双方の取り組みを進める。

関係部局が連携し取り組む  
や出没の要因となる恐れがあると考えている。私有地の雑木が繁茂し、道路へはみ出している状況があれば、所有者が切除の催告に応じないとき、または所有者が不明である場合で、危険があり緊急を要するときは、建設課が道路にはみ出している部分を切除する。

## クマ対策

### 住宅の雑木伐採が急務

ウンディング型市場調査において、地元住民と民間事業者が五百石駅周辺エリア独自の魅力を、ともに創出する仕組みが必要であることとを確認した。地元住民や関係団体との意見交換を重ねながら、関係者が一体となって魅力あふれる街づくりに取り組む。

## 町長町議選

### 電子投票器の導入を

導入には慎重な判断が必要である



松倉勝実 議員

町長 一人暮らし高齢者を取り巻く問題は、医療面をはじめ、介護・生活面、法的な手づき等複雑化している。特に身寄りのない高齢者を支える体制を構築することは重要な課題である。町では、希望等を書くことが出来る「エンディングノート」

議員 身寄りのない一人暮らし高齢者の方々は、死後に不安を持っている。元気な時から、生活支援制度の中で墓の事、財産処理のこと等を告知し不安解消を。

町長 現在の開票作業においては、候補者名の判読に時間を要するほか、疑問票や無効票が一定数発生することが課題である。電子投票は、この課題に対し効果的な解決策となる可能性がある。その上、開票時間の短縮が期待

議員 4年間で国政選挙等5回の立会人を経験した。疑問票の処理に時間を要している。新システムの電子投票機の導入を請う。

## 終活支援

### 一人暮らし高齢者終活支援制度を

体制構築は重要な課題である

される。一方でこの機器を導入するには、初期費用・運用・保守費用等新たな財政的な負担が生じる。(全ての投票所に当該機器を設置しなければならぬ。電子投票は、地方自治体の選挙に限られ、全国的にその事例は少ない。トータル費用の観点から、導入には慎重な判断が必要である。

を窓口を設置している。又、将来への不安等の相談があれば、無料相談や「法テラス」等の関係機関を紹介している。加えて権利擁護の必要があるが身寄りがない等の場合は、本人や親族に代わって町長が家裁に後見開始申し立てを行っている。又、国では令和6年度から「身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題に対応するモデル事業」を行っている。今後、国の動向を注視するとともに、引き続き高齢者が安心して暮らせるよう支援していく。

# 一般質問

**町長** 令和8年度の雄山高校の志願者数は、普通科で定員を著しく下回った。これは昨年の倍率が1.2倍であったため、受験生から避けられたことと、私立高校授業料の実質無償化が大きく影響したと考えられる。町では、雄山高校と令和2年9月に締結した「包括連携協定」に基づき観光や

## 雄山高校 町の支援を問う

選ばれる高校として  
県へ要望



村井一仁 議員

まちづくり分野の課題探究活動など学習の支援をしている。

また、町にはなくてはならない高校として、立山まつりなど町のイベントにも協力し地域からの期待に応え、生徒にとっても学校生活

への活力につながっている。町としては、これら活動を引き続き支援していくと同時に県には、選ばれる高校として魅力向上施策を展開していただくようこれまで同様、粘り強く要望する。

### まちなかり・デザイン

### 施設整備内容と定住促進事業について

### インフラ整備と積極的に定住促進を周知

**議員** 移住交流拠点施設整備事業内容と定住促進事業補助事業の予算拡充と周知方法について問う。

なかで空き家バンクに登録された空き家を購入し移住した場合の補助を手厚くする。事業効果を高めるための情報発信方法として、空き家所有者に対し、税務課から送付する固定資産税納税通知書に空き家バンク制度のお知らせを同封し、空き家バンクへの登録を積極的に促して周知する。

**企画政策課長** 移住交流拠点施設は、国の「地域未来交付金」制度を活用し、国から2分の1の補助を受けて施設に隣接する広場や道路の整備等インフラ整備を予定している。

また、定住促進事業は、予算拡充し、まち

## 町営バス再編

### デマンドバス停を利用しやすい設計に

公民館等徒歩圏拠点で設計



経明 純 議員

道・バス・タクシー・町営バスの連携強化により交通弱者の移動手段確保を図っている。利用減少は人口減に加え接続不足やニーズとの乖離が要因であり、導入判断はニーズ対応・他事業者への影響・財政負担を踏まえた持続可能性を基準とする。

「ちよつどいい公共交通」を理念に再編を進め、免許非保有・返納者がバス利用中8割の実態や県内他事例を参考に、定時定路とデマンド運行の併用による持続可能な福祉型公共交通体系の構築を目指す。最寄りバス停は集落公民館等軸に設計する。

### 移住交流拠点施設整備

### 人口政策中核拠点としての決意は

### \*KPIのもと移住定住・地域活性化を

**議員** 年間相談・移住成約の現状評価をふまえ、関係人口創出や若年層移住促進に向け、観光接点を活かした導線づくりや空き家対策、民間連携等機能強化をどう図り、本施設を人口政策の中核拠点とし成果明確化の下どう展開するのか方針と決意を問う。

月末30件。移住者も年々増だが転出超過にある。本施設は人口政策の中核拠点としてKPI目標を掲げ、空き家情報提供や交流機能も様々備え、観光と連動し移住・定住促進と町全体への地域活性化の波及を図る方針と決意である。

**議員** 予約制ワゴン導入報道を踏まえ、高齢化・免許返納増に対応した移動手段確保の考え、施策導入の判断基準、将来の公共交通の方向性、免許返納と利用の相関、アンケート等実施状況、再編事業の位置づけ、ゴミステーションのバス停化等利便性配慮を問う。

**町長** 移住相談は令和6年度35件、7年度2

※KPIとは  
Key performance indicator(重要業績評価指標) 目標にどれだけ近づいているかを示す数字の目安。



後藤智文 議員

## 岩崎寺駅前周辺 にぎわい創出にどう取り組む

意見交換の場は重要だ

議員 岩崎寺駅前がさびれて、地元から駅周辺のにぎわいを望む声が大い。岩崎寺駅前公園改修費用が計上されているが、どのような内容か。

「れたらいい」と発言された。地元としても「岩崎寺駅前周辺開発協議会」なるものができればいいと考えるがいかがか。

式トイレを洋式への改修などを行う。  
また、協議会等の設立予定はないが、町としての目的や課題に対して地域住民と意見交換の機会を設けることは重要である。意見交換の場を設ける際は、声かけをするので建設的な意見をお願いします。

また、町長は、立山地区振興会総会のあいさつの中で、「立山線再構築本調査と岩崎寺駅前の開発と併せてや

町長 岩崎寺駅前公園の改修は、公園内の樹木の伐採や富山地方鉄道立山線の線路側に防護柵の設置、トイレの給水管の更新並びに和

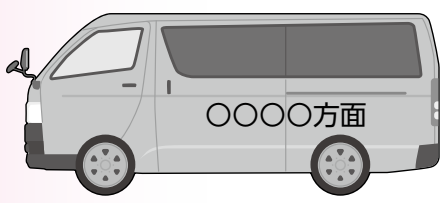
一部を除いて町内全域

### 公共交通

### デマンド交通運用範囲は

議員 公共交通の在り方が議論され、その中で今年の後半からデマンド交通が試験運用される。広い立山町の中で中山間地も含めて運行が可能かどうか。

町長 町営バスのデマンド運行実証事業は、芦崎寺線の運行エリアを除く、町内全域での実施を予定している。



※イメージ

## 学力向上事業

### 教員の指導力向上で期待される効果

児童生徒の自己調整力向上



松原幹昌 議員

議員 町では、この4年間、読解力向上に取り組みられている新井紀子先生の指導のもと、着実に成果を上げてきたと認識する。  
今後は、上智大学奈須正裕教授の指導のもと、学ぶ意欲を育てる授業づくりへとつなげ、教員の指導力向上に取り組みまれるとのこと。期待される成果を問う。

教育長 これからの教育は、一人ひとりが習得した知識を活用し、友達と話し合う中で、方向性を見出すこと、必要な内容等について考える自己調整力が課題と捉える。奈須教授の指導・助言のもと、教員が新しい学力観に基づいた授業改善・授業づくりに取り組みむことで、本町の児童生徒の自己調整力が高まることを期待している。

議員 読解力向上の取り組みの成果を継続するうえで、今後の課題は、教員や地域の大人が、自らの力で学びを展開できる体制づくりであると考える。  
これまでの研修内容を、教員や地域の大人が主体的に担っていく体制づくりについての見解及び教員や地域の大人が、インスタクターとして育成する仕組みづくりについての見解を問う。

教育長 読み解くスキ

ルの指導について、担い手として同じ教員が継続することは、課題がある。PTAや地域の大人がインスタクターとして子供たちを指導するためには、高度な専門性が必要となることから、いずれも難しいと考える。町では、各学校の教務主任による「読み解く力」向上推進委員会を定期的に開催し、各学校の取り組み紹介や成果と課題について協議している。  
今後とも、各学校の主体的な取り組みに重点を置きながら、その取り組み内容を町全体で共有し、学力向上に取り組み体制を継続していきたいと考える。



## 6月立山町議会定例会日程

期日	時間	会議内容
8日(月)	10:00~	●本会議 (提案理由の説明) ●全員協議会
15日(月)	10:00~	●本会議 一般質問・質疑、 議案等の委員会付託
18日(木)	9:00~	●総務教育常任委員会
19日(金)	9:00~	●産業厚生常任委員会
23日(火)	13:30~	●本会議 (委員長報告、討論、採決)

★本会議の傍聴…どなたでも傍聴できます。  
★委員会の傍聴については、議会事務局にお問い合わせください。

今回の表紙テーマは

## あなたの「とっておき」の一枚

他人に自慢したい風景・人(家族、友人など)・行事など幅広くご応募ください。

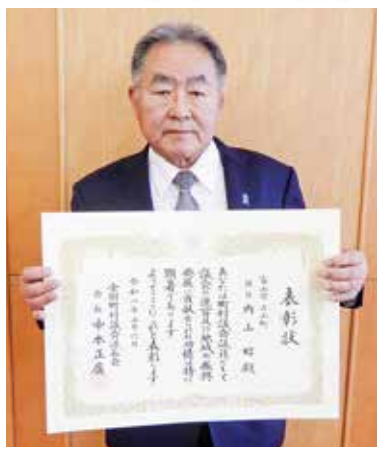


応募は上記からも可能です。

- 応募期間** 令和8年5月1日(金)から令和8年6月19日(金)まで
- 応募資格** 立山町に在住、在学、在勤の方
- 募集写真**
  - 1年以内に立山町内で撮影した風景、イベント、人等の写真(1人2枚まで)
  - デジタル写真データ(JPEG形式、サイズ1MB以上5MB以下)
- 応募方法** 必要事項「住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影日、写真タイトル」を明記の上、USBメモリ等の持参又は郵送、電子メール等によりご応募ください。
- 掲載方法**
  - 町HP及び議会だより本紙(8月1日発行)にて掲載します。
  - 掲載する情報は、「写真、氏名、撮影場所、撮影日」です。
- 応募上の注意**
  - 応募者ご自身が撮影した未加工のカラー写真で、未発表のものに限りです。
  - 掲載写真に関する著作権、肖像権等に関する責任は全て応募者に帰属し、無償で立山町議会が使用することを許諾することとなります。
  - 紙面の都合上、トリミング等の加工を施す場合があります。
- 応募先** 〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440番地  
立山町議会事務局内 議会広報特別委員会  
E-mail:gikai@town.tateyama.lg.jp

## 内山昭氏(元議員)、 全国町村議会議長会表彰を受賞

令和8年2月6日に開催された富山県町村議会議長会定期総会において、内山昭氏が町村議会議員特別表彰を受けました。



## 令和8年度 地域おこし協力隊の 方々を紹介します。

### 地域おこし協力隊



**中嶋 あいりさん**  
継続  
英語教育等支援員  
立山小学校区を中心に英語のスキルを活かし教育活動に取り組む。



**青柳 深子さん**  
新規  
準提案型隊員  
上段丘陵等の森林の健全な管理と地域資源の活用に取り組む。

## あ と が き

暖かな春を迎え、世の中は活発に動き出しました。希望に満ちた旅立ちの、清々しい季節です。一方では、熊も冬眠から目覚める季節です。昨年は熊などの動物が平野部に現れ、警戒を強いられる一年でした。今年も出現が予測されることから、身の安全のためみなさんで、雑木処理などできることを協力し合い、行動できたらと思います。

(堀田 記)

議会や議会だよりについて、みなさんのご意見・ご感想は

立山町議会内 議会だより係 まで  
TEL 076-462-9984 FAX 076-464-1118  
E-mail gikai@town.tateyama.lg.jp  
図書館及び町HPの【議会会議録】もご覧ください

### 議会広報特別委員会

- |      |       |    |       |
|------|-------|----|-------|
| 委員長  | 堀田 努  | 委員 | 村井 一仁 |
| 副委員長 | 松原 幹昌 |    | 経明 純  |
|      |       |    | 宇佐美 淳 |
|      |       |    | 松倉 勝美 |

発行 立山町議会  
責任者 議長 平井 久秋  
編集 議会広報特別委員会

立山町議会事務局  
〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440番地  
HP <https://www.town.tateyama.lg.jp/>